

インターバンクの声（2014年11月14日）

今週は安倍首相が12月に衆議員解散・総選挙と消費税増税の先送りをする公算が高まったとの報道以降、株価の上昇と円売りが目立ってきた。これまで10%への消費税再引き上げの判断は、12月8日の7-9月期GDP2次速報値の結果を見てからになるとされていたが、どうもそこまで待たず来週初め17日発表の1次速報値の結果で決断するようだ。しかしながら、実体はGDPの結果が悪いことは想定済みで、下振れしている景気を改善させ、デフレ脱却を確実にしてから再増税に動くとのシナリオらしいが、問題はそう簡単にことが運ぶのかどうかだ。とりあえず更なる緩和策の導入すらあるのではと期待する市場は、株価上昇と円売り反応となっているが、こうした上昇に懐疑的になり始めている人も増えてきた。それでも相場は、大型船の動きと同じで一旦ついた勢いを直ぐに止めることは難しい。年末年始の相場観として、多くの市場参加者が占い始めた125円方向が見えてくるのかどうか、来週の相場から目が離せない。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。